

日本 UNHCR 協会賞 入賞作品

「地雷で足を失ってしまった子へ」

小林 さくら

小4 長野県長野市

あなたのことを本で見たとき、あなたの顔はわらっていたけど、足をなくして、そんなにつらいめにあったのにどうしてわらってられたの。もし私がそんなめにあったら、とてもとても悲しいと思うのに。難民キャンプでの生活や食べ物で、とてもあなたがこまったりしたのが分かります。私は、今まで難民のことを勉強してきたけど、私は、あの本をみたとき、とてもかわいそうで悲しく思いました。私は、難民になる人を一人でも多くすくいたいと思います。私がこの世で一番こわいのは、戦争です。なぜかという、いろいろな人が苦しいめにあって、家をもえたり、だれかがころされたりするからです。私は、その光景を一度でも見たくありません。私は、地球のだれもが幸せで学校にふつうに行けて仕事に行けてあたりまえの生活ができるといいなと思います。地雷で足をなくしてしまった子は、とてもかわいそうだと思います。私は戦争もきらいだけど地雷が一番きらいです。なぜかという、地雷をふんだいろいろな人が足をなくしてうでをなくして、目をなくして、人間の大事なところや一番使うところをなくして、いろいろな人を苦しめるからです。私は、戦争をやろうとさんせいしている人たちに、「人間の命をなんだと思っているの」と言いたいです。私たちや、今、日本にすんでいる人は、みんなとてもめぐまれていてふつうの生活をおくっていてとても幸せです。戦争でとてもつらくて悲しくてもがんばってね。私は、これから難民の人たちのために、難民キャンプで生活するだけじゃなくて、前のふつうの生活ができるようにしてあげたいです。私は、これからもっと勉強して難民の人たちの役に立ちたいです。地雷をふんでしまった子は、いっぱいいると思うけど、その多くの人を助けてあげたいです。私は、地雷や戦争をこの世からなくしたいと思っています。大きくなったら、難民を助けたり、食べ物をあげたり難民の人たちにもとの生活を取りもどしてあげたいです。日本がもし空しゅうで飛行機が飛んだりしたり、空がけむりや赤い火でいっぱいになったらそれはもう日本も戦争の国になります。私は、戦争をぜったいにこの世からなくして、いろいろな人々を助けてたいです。そして、私が大きくなったら、地雷で足を失ってしまった子のところにも行くかもしれません。地雷で足を失ってしまった子の住んでいる国も平和になるといいな、と私は思います。